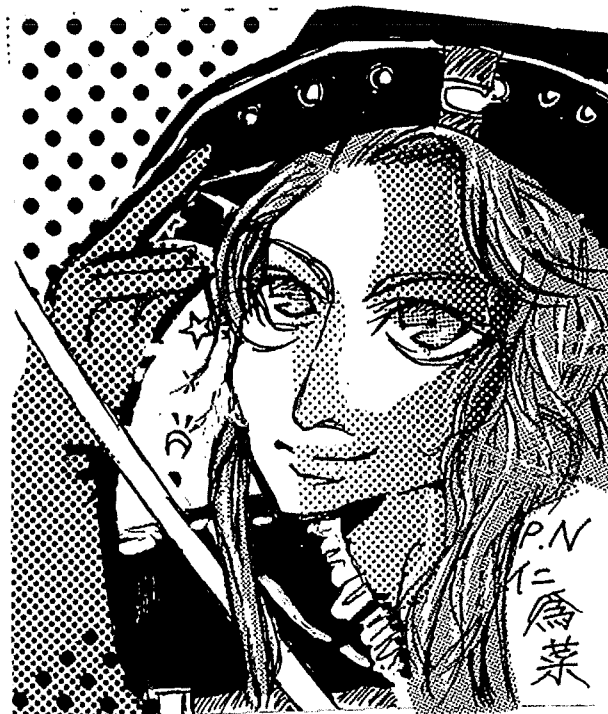


旅立ち

社会福祉法人しらとり会
利用者通信 (NO. 29)
平成 29 (2017) 年 10 月 1 日発行

今月は、4名の方からの投稿です。



謎かけ

・ 九月の祝日とかけて

家路と解く

その心は？ 早くけいろう、の日。

・ 「臭いおならをしましてしまって済みません」と、笑いながら謝ったとかけて

「笑ってる場合か！」と、怒鳴ったと解く

その心は？ 「臭いおならよ、さよおなら」。

(岡本 祐子)

○職員特に精神科医はいつ社会を経験したのだろうか？

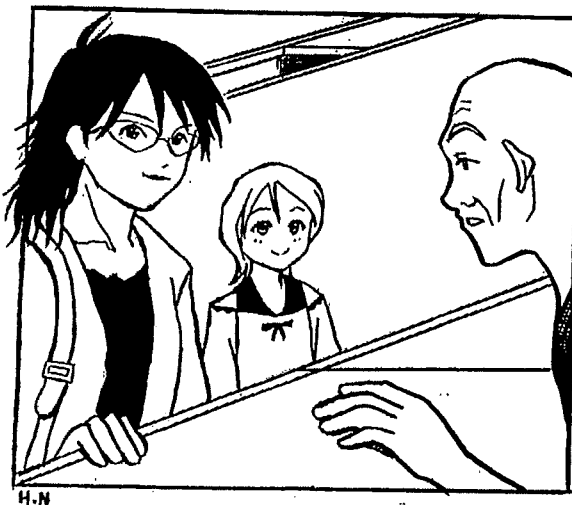
○医学部で6年、マスター過程で2年、ドクター過程で2年、一人前の医者になるのに10年、最低でも一人前の精神科医になるのに20年、つまり18歳+20年で38歳以下の精神科医は世間常識から言えば未熟者と言う事になる。

○つまり精神鑑定は学問さえ修めていれば出来る、ひいては精神科の治療は世間常識なくとも出来るという事だ。

○精神科医の言う事だけ聞いてても地域移行・定着は出来ない。

○考えるものは救われるが、考えさせられるものはいつまでも患者という事だ。

(加藤忠男)



【投稿の募集】

次回の締切は、10月16日(月)です。

利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。

『旅立ち』編集委員：加藤、本川、A.-Z.、H.A.、T.、Y.I.、Y.Y.)